支部だより

CPIJ Branch Letter

中部支部

平成 23 年度通常総会並びに講演会・見学会報告

中部支部では、平成 22 年 4 月 16 日（土）、名古屋都市センターにて開催された平成 23 年度通常総会と併せて、講演会・見学会が開催された。本年度は、平成 23 年 3 月 27 日（日）に地下鉄桜通線「野並～徳重」間が開通したことに伴い、名古屋市の地下鉄及び沿線都市整備に関する講演会・見学会が企画された。

◆講演会

①「名古屋の地下鉄と都市計画」

（講師　中部大学工学部教授　磯部友彦氏）

名古屋市の地下鉄計画及び整備の変遷、地下鉄沿線のまちづくり、基幹バスとの関係構築のあり方について講演が行われた。名古屋市の地下鉄は、従来から沿線開発と歩調を合わせて延伸された経緯があり、現在も「駅そばルネッサンス」といった地下鉄駅を拠点としたまちづくりが進められていることが紹介された。また将来的に、基幹バス等との他の交通モードとの連携強化が重要であることから、交通結節点としての地下鉄駅のあり方について指摘された。

②「地下鉄桜通線の延伸について」

（講師 名古屋市交通局電車部桜通線運転区長　平林直文氏）

桜通線延伸区間（営業キロ４Km、地下鉄４駅）の事業及び工事の概況を解説したうえで、開通区間の特徴（稼動式ホーム柵、シールドトンネル横断）、駅周辺付近のまちづくりについて説明をいただいた。

◆見学会

①徳重駅及び徳重交通広場

徳重駅では、可動式ホーム柵、駅別カラーコーディネイト、バリアフリー等の整備状況について説明を受けた。

また、徳重駅とバス・タクシー・一般車両の交通結節点となる「徳重交通広場」の整備状況について見学を行った。

②緑区役所徳重支所等共同ビル；ユメリア徳重

地下鉄徳重駅における複合開発である「ユメリア徳重」（平成 23 年３月竣工）について見学を行った。

本施設は、ＰＦＩ事業として整備が行われ、交通広場及びヒルズウォーク徳重ガーデン（大型商業施設；核店舗ユニー）と、テラス広場（交通広場屋上部）等を介して一体的にされたもので、行政活動、地域活動のセンターになっている。見学会では、地下鉄徳重駅から、交通広場、ユメリア徳重への歩行者動線を確認するとともに、施設内部、屋上広場の整備状況の見学を行った。ユメリア徳重は、敷地の微地形にあわせて、階段状の建物構成がとられており、周辺の住宅地からもアプローチしやすいコミュニティに開かれた施設となっている。また隣接して、要池公園や名古屋市緑文化小劇場が整備されており、テラス広場からは、周辺の住宅開発とともに、これら公共施設が一望できる。

「ユメリア徳重」の見学会は、今後、徳重駅周辺が、緑区の発展を担う重要な拠点になっていくことを、まさに実感するもので、参加者からも地下鉄供用前との環境変化について驚きの声が多く寄せられた。

（ユメリア徳重の概要）

○規模　　地上４階建
　　（敷地面積　10,048 ㎡、延床面積　12,955 ㎡）

○導入施設　緑区役所徳重支所、徳重地区会館、徳重図書館、体育館、銀行など

○事業方式　ＰＦＩ方式

徳重駅の視察風景

（当報告は、三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング㈱　永柳　宏が担当した。）